

第 16 回鯖街道ウルトラマラソン参戦記

西川 剛

今年で 10 回目の参加となる鯖街道ウルトラマラソン。今年は前述の通り、初の試み宮古島大会の出場後の鯖街道 UM 参加となりました。日焼け後の脱皮により一皮剥けて自己ベストを更新！！2連覇達成！！幻想を抱いておりましたが、リザルトは6時間 54 分 24 秒と昨年、一昨年のタイムより約 20 分遅れとなり、記録的には決して満足のものではありませんでした。

序盤はきむかつ氏らの第 2 集団とともにややハイペースな展開となりました。気温も蒸し暑く感じましたが、9.4 キロ AS で 42 分、15 キロ AS で 70 分と例年通りのペースで走っていたこととなります。根来坂峠への登山口でトップとの差が 10~15 分とのこと。根来坂峠の下りの舗装林道をあたりから小雨がぱらつき、百里小屋 AD からは本降りの雨、久多までの道中はどしゃぶりの雨の中を、私、ハセツネ 50 位の伊藤弘一さん、エリートトレイルランナーの中辻悠貴君の 3 人で走る展開となりましたが、久多中間点の手前の峠で私が先行し、この地点で 3 時間 30 分。例年より遅めか？(誰か教えて下さい。)ご用意いただいているおにぎりも口にする事なく、ドリンク、昆布&梅干、バナナミックスでオグロ坂峠目指して先を急ぎます。後からは中辻君が安定した走りと歩きで私に迫ります。本格的な登山道に入り、彼は積極的に歩きを取り入れています。(余裕ですな)私は走 9:歩 1 の割合で少しずつ差をあけるのに躍起です。雨のオグロ坂峠、八丁平も神秘的で美しいですね。高木さんの八丁平 AS で今年も冷やし飴をいただく余裕もなく、杉林を下り尾越、大見、杉峠を目指します。この時点(残り 20 数キロ)で昨年よりも随分と遅いことに気づき、気落ちしてしまいました。

花背の下りでもっと加速できればと思いながら、いつもの練習コース 鞍馬、市原、柘野、加茂川河川敷をひた走ります。3 位の選手の姿はまだ見えません。この 10 キロは精神的にいつもしんどいです。1 キロが長く感じます。とにかく逃げ切ることを考えていました。出雲路橋、葵橋を走り抜けあと 200m。係の人が無線で私のゼッケン No. をゴールに伝えます。ゴールが見えました。私のゴール告げるアナウンスが聞こえます。両手を挙げて笑顔で 2 位でゴールテープをきりました。午前中の悪天候も何とか回復し、5 月の爽やかな好天と東山 36 峰の山並みが今年も印象的でした。結果はともかく今年も完走し、ここに戻って来れたことに喜びを感じることができましたし、今年も綱村実行委員長、奥野さんをはじめ多くの方に温かく迎えていただきました。例年、先を急ぐあまり各 AS でボランティアの方に十分なお礼も言えず、沿道の声援にも笑顔で応えられませんが、この場を借りて皆様に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。本当に素晴らしい大会です。

今回優勝した竹之内君は龍谷大学の職員で枚方マスターズ所属の市民ランナーです。学生時代に陸上部経験はないとのこと。現在では、フルマラソンを 2 時間 40 分で走り、四万十川ウルトラマラソンでも 2 位に入賞している強者です。鯖街道には、昨年、一昨年と過去 2 回出場しており、一昨年は、リードする彼を柘野グランド前で捉え、辛うじて 2 位をキープした経緯があります。今年の彼はスタートから調子が良かったようで、第 2 集団の視界から瞬く間に消えました。どんどん引き離され、私との差は道中 15 分、最終的には 23 分の差がありました。余談ですが、彼は私の高校の後輩で、職場の同僚であった方と最近結婚しました。彼女も毎回本大会に応援で駆けつけ彼のゴールを待ち続けていました。そんな二人のしあわせと今回の優勝を心から祝福したいと思います。